



里山保全体験学習：中学校

小中学校教育

基本方針

■ 「生きる力」「共に生きる力」をはぐくむ教育

- 平成 23～25 年度の指導の力点（学力・豊かな人間性・心と体の育成、家庭・地域の教育との連携、教職員の資質・能力の向上）について各学校での取り組みの充実を図る。
- 各学校（園）の学校（園）づくりビジョンの実現や教育課題の解決を目指した教育課程・指導方法の改善を促すとともに、学びの一体化を推進し、学習指導・生徒指導等の充実を図る。また、学校図書館や市立図書館の活用を進め読書活動の充実を図る。
- 各学校（園）安全教育の推進を図るため、安全担当者研修会等を充実し、「安全の手引き」や「危機管理マニュアル」にもとづく指導の充実を図る。
- 学校・園、家庭、地域が協働し、子どもを育むことを目指し、「地域とともにつくる学校づくり」を進める。
- 外国人英語指導員の活用と四日市独自の外国語活動（英語）カリキュラムによる英語活動・教育の充実を図る。
- 適応指導員等の配置を行い、外国人児童生徒の適応指導及び多文化共生教育の充実を図る。
- 今日的な教育課題や教職員の多様なニーズをもとにした研修を実施し、教職員の資質・能力の向上を図る。
- 多様な課題をもつ児童生徒に対する教育相談活動の充実を図るため、教育相談室等の整備並びに、教職員のカウンセリング能力の向上及び関係機関との連携強化に努める。
- 障害のある児童生徒の適正な就学を支援するため、就学相談を充実させるとともに、障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育的支援の充実を図る。
- 本市の重点的な課題について研究を推進し、その成果を教職員研修講座等を通して広めることで、教職員の実践的な教師力を高める。
- 教材、教具及び管理備品の充実・整備を図るとともに、適正な学校（園）運営経費の確保に努める。
- 学校保健活動や学校給食の整備を図るとともに、指導を充実する。
- 就学援助・就園奨励の適正な実施に努める。
- 安全で快適な学校（園）施設の整備・充実を図る。

※（園）は幼稚園

具体的方針と努力点

I 小・中学校教育

○確かな学力を育成する

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の定着 「習得」
- 2 思考力・判断力・表現力等の育成 「活用・探求」
- 3 「学び合い」の重視
- 4 指導と評価の一体化の充実
- 5 外国語（英語）活動・英語教育の充実
- 6 ICTを活用した授業の充実

○豊かな人間性を育成する

- 1 体験活動を生かし、道徳的実践力を育む道徳教育の充実
- 2 自己指導能力の育成をめざす生徒指導の充実
- 3 読書活動の推進
- 4 豊かな体験活動の充実

○健康な心と体を育成する

- 1 積極的に運動に親しみ、体力の向上を図る取組の充実
- 2 自らの健康を管理・改善する資質や能力の育成
- 3 学校・園教育活動全体を通じた食育の推進
- 4 日常生活に生きる安全教育の充実

○社会の変化に対応し、主体的に生きる力を育成する

- 1 子どもの発達段階に応じたキャリア教育の推進
- 2 多文化共生教育の推進
- 3 身近な素材から出発し、社会参加につながる環境教育
- 4 ふれあいを通して共生を学ぶ福祉教育
- 5 男女共同参画社会の実現をめざす教育

II 特別支援教育

○自立し社会参加するための力を育成する

- 1 特別な教育的支援の充実
- 2 途切れのない支援体制の充実

III 人権教育

○人権を尊重し、人権問題を解決する行動力の育成

- 1 観点を明確にした人権教育の充実
- 2 豊かで確かな人権教育の推進
- 3 人権教育の指導内容の充実
- 4 人権を視点にすえた総合的な学習の時間の創造

IV 学校づくり

○家庭や地域の信頼に応える学校づくりを進める

- 1 学校の主体性と学校づくりビジョンの確立
- 2 保護者・地域の人々との協働の推進
- 3 学校自己評価の効果的な活用

V 教職員の資質・能力の向上

○実践的指導力を高める効果的な研修を実施する

- 1 「教師力サポートブック」の活用による自己相互研鑽の推進
- 2 校・園内研修の改善・充実

VI 家庭・地域の教育との連携

○対話を大切にしたい、共に進める子育てを推進する

- 1 共に進める子育ての共通理解
- 2 「地域と共につくる」学校の推進
- 3 校・園内研修の改善・充実

国際理解教育

○本市中学校における英語教育の充実と学校教育における国際理解教育の推進を目的に、11名の外国人英語指導員を招へいしている。その内訳は、姉妹都市であるロングビーチ市（米国カリフォルニア州）からの7名と、国のJETプログラムによる4名である。

市内全中学校に派遣し、日本人教師とのチームティーチングによる英語の指導を行う。

また教科外でも、学活、部活動、学校行事など幅広い教育活動に参加し、生徒との交流を深める。

○小学校段階から、世界に目を向け、国際感覚を身につけた豊かな心を持つ子どもを育成するため、すべての小学校に外国人英語指導員を派遣し、小学校段階にふさわしい体験的な英語活動を実施する。

小・中学校自然教室

野外活動を通して、自然に触れる楽しさを味わうとともに、集団生活を通して人間的なふれ合いを深め、相互の理解と信頼を高めることを目的としている。また、様々な体

験活動を通して、生きる力の基盤となる自己判断力、自律性、協調性が身につく機会としている。

区分	実施期間	対象校	実施場所
小学校	5月18日～12月1日	40校(3,010人)	○四日市市少年自然の家
中学校	4月19日～2月17日	22校(2,948人)	○四日市市少年自然の家 ○鈴鹿青少年センター

児童・生徒の文化活動

○各種展覧会

- ・三泗小中学校科学展 (9月10日～12日)
- ・三泗小中学校社会科作品展 (9月10日～12日)
- ・三泗小中学校美術展 (2月9日～14日)
- ・三泗小中学校書写展 (1月21日～23日)
- ・交通安全作品展 (10月20日～23日)
- ・新聞スクラップコンテスト (10月8日～14日)

○各種発表会

- ・科学研究発表会 (10月8日)
- ・三泗小中学校特別支援学級学習発表会(2月17・18日)
- ・英語スピーチ・英作文コンテスト (11月14日)
- 音楽会
 - ・三泗小学校音楽会 (11月16・17日)
 - ・三泗中学校音楽会 (11月10・11日)

文部科学省・県等指定校

区 分	教 科 ・ 領 域	指定地域・学校名	期 間
文 部 科 学 省 指 定 研 究 校	道徳教育総合支援事業	泊山小学校	1年
	帰国・外国人児童生徒受入体制整備事業	四日市市	1年
三 重 県 指 定 研 究 校	外国人児童生徒の学習支援事業	四日市市	1年
	平成 23 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」に基づく 子どもの体力向上学校支援事業	河原田小学校、日永小学校	1年
四日市市指定	重点課題研究推進校	笹川中学校、中部西小学校、浜田小学校	2年
	四日市市読書活動推進校	川島小学校、神前小学校、八郷小学校、 三重北小学校 三重平中学校、富洲原中学校	1年